



展示作品

地域おこし・福祉大会！

3月6日（日）、野方改善センターで野方公民分館が主催する『地域おこし・福祉大会』が開催され、舞台発表や講演会が行われました。

舞台発表は、小・中学生による作文発表や野方保育園児による楽器演奏、分館女性部による野方音頭の披露などが行われました。

講演会は、関東野方会の会長である北村輝昭さん（東中組出身）が『故郷を離れて思う野方』と題して昔を懐かしみながら話しました。北村さんは「野方を離れ東京で54年暮らしていますが野方が”ふるさと”です。」と涙ながらに話し、会場からはすすり泣く声が聞こえました。



社会教育講座合同閉講式 & 郷土愛を育む講演会

3月12日（土）、町中央公民館で『社会教育講座合同閉講式』が開催され、各講座の活動がスクリーンに映し出され、1年間を振り返りました。代表講座による舞台発表もあり、活動の成果を披露しました。

その後、同会場で『郷土愛を育む講演会』が開催され、鹿児島大学総合研究博物館准教授の橋本達也さんによる『古墳から読み解く大隅の古代群像』と題した講演が行われました。講演は横瀬古墳や神領10号墳を中心に話され、「当時の大崎町には相当な地位を持つ有力者がいたと思われる。」と話しました。



3 B体操（健康体操）



大崎音頭



「読み解く大隅の古代群像」
鹿児島大学総合研究博物館准教授 橋本達也 先生